

平成 18 年度事業計画書

(平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

平成 18 年度 事務事業の重点目標

指定管理者として、より一層のお客様サービスの向上と施設運営の効率化を図り、事業の安定化と新分野事業への取組みを進め、各施設の管理・運営体制を確立し「自立する事業団」を目指す。

・管理・運営体制の強化

1. 施設長のマネジメント・プロデュース能力を向上させるため、経営管理講習・施設管理技術の習得などを行う。
2. 公益法人としての社会的責任を果たすとともに、コンプライアンスの観点から、個人情報保護、情報公開、人権問題など様々な知識の修得に努める。
3. 職場内の研修（OJT）やミーティングをより活性化させ、管理体制の強化を図る。
4. 施設長の職務を確立し、事務の更なる簡素・効率・迅速化を図る。
5. 「札幌市健康づくり事業団」との統合に向け、機構改革や新たな事業展開への取組みを進める。

・事業団スポーツ振興戦略に基づく自主事業の拡充

1. スポーツへの継続化を図るための通年スクールやナイトリーグ戦などのクラブサービスを行う。また、冬季遊休スペースを有効活用し、ウインタースポーツ・レクリエーション事業の充実を図る。雪合戦、そり遊びなど
2. 大勢の市民が参加できる新しい大型イベントについて企画・検討を行う。
3. 生活習慣病予防に関する事業や子供の体力向上に関する事業など、ライフステージに応じた新たなプログラムの研究開発と事業拡大を図る。
4. 教室事業等の更なる充実を図るため高等教育機関や競技団体と連携し、生涯スポーツ指導者等の育成事業を実施する。
5. 地域スポーツ支援事業や屋外系事業などのプログラム開発と提供を行い、地域団体へのバックアップ体制を取り、地域スポーツ活動への支援に努める。どこでもスポーツ隊、軽登山自然散策など

・お客様への快適なスポーツ環境の提供

1. お客様の安全・衛生の確保を徹底するため、救護救急及び防災などの各種研修・訓練により職員の資質向上を図り、必要とする資格の取得を推進する。
2. 利用するお客様が、より高い満足度を得られるサービスとホスピタリティを提供するため、接遇教育等の徹底を図る。
3. お客様の声を施設管理に積極的に活かすため、内・外部のモニタリングシステムを構築する。

平成18年度 事業実施計画

1. 地域スポーツ普及振興事業（講習会、教室等）

寄附行為第4条第1号に掲げる事業は、次の計画により行う。

< 体育施設事業等 >

各区体育館、プールにおいて市民を対象とした大会、講習会等を開催し、技術の向上を目的とした事業や文化活動を含めた事業及びスポーツに対する動機付けとなる体験教室等を実施する。

(1) 大会

北区卓球大会、厚別区ジュニアバドミントン大会、白石区ミニバレー大会等

31 大会

(2) 講習会

ア. 体育館

インドアゴルフスクール、エアロビクス、リズム体操、ヨガ、バドミントン、太極拳、テニス、フォークダンス、バトントワリング、卓球、演歌体操等

2,458 講習会

イ. プール

水泳教室(成人・シルバー・少年少女・幼児・4歳児・親子)、アクアビクス、おはようスイミング、スキューバダイビング、水中ウォーキング、水中エクササイズ等

2,396 講習会

ウ. スケート場、屋外施設

少年少女フィギュア教室、アイスダンス教室、少年少女アイスホッケー教室、アーチェリー教室、パークゴルフ教室、ウォーキング教室等

36 講習会

< 通年型スクール事業 >

利用者の拡大と顧客化を目指し、付加価値を付けた通年型スクールを実施する。

(約100スクール)

< 学校体育施設利用事業 >

学校開放施設を利用して、地域に密着した事業を積極的に展開する。

かんたんエアロ星置、キッズテニス、お母さんと幼児の体操、短期集中“鉄棒・跳び箱”苦手克服など80教室

< 出張事業及び協働事業 >

地域スポーツの活性化や市民の日常スポーツ活動の支援を目的とした、地域出張講習会、指導者派遣、地域事業の企画請負及び用具レンタル等の事業を行う。

「どこでもスポーツ隊」、ニュースポーツ用具レンタル

<屋外事業>

既存施設を利用するだけでなく、バスなどを利用した屋外事業を行い、四季折々の自然環境を活かした健康づくり、親子のふれあい及び世代を超えた参加者相互の親睦交流等の事業を実施する。

登山、自然散策、ウォーキング、ノルディックウォーキング、パークゴルフ、歩くスキー・スノーシュー他

<スポーツナイトリーグ>

区体育館閉館後の時間帯を利用し、スポーツ愛好者へリーグ形式での試合開催することで、日頃の練習の成果を発揮する機会を増やし、競技利用者間の交流を目的にスポーツナイトリーグを実施する。

フットサル、バレーボール

<施設間合同事業>

施設利用者間の親睦と交流を図り、更なるスポーツ意欲を高めるため、複数施設が合同で事業を企画し、各区対抗のスポーツ大会などを実施する。

スイムフェスタ、SSPC朝野球大会、SSPCテニストーナメント

<ウインタースポーツ・レクリエーション事業>

冬に閉じこもりがちな子供達を対象に雪合戦、そり遊び及びイグルー作り等の外遊びの楽しさを体験させると共に、体力づくり、仲間づくり及び集団行動を学ぶ機会の提供等を目的とした事業を推進する。

歩くスキーコース、雪合戦コートの開設(つどーむ)

円山競技場における道新杯小学生雪合戦大会を柱とした、地域リーグ化の検討と普及講習会の推進

(収支見込)

収入予定 505,955,000円

所要経費 241,004,000円

2. 地域スポーツ指導者育成事業

寄附行為第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

<スポーツ指導者の地域派遣と育成事業>

地域スポーツ指導者を対象とした、ソーシャルワークやグループワーク等のスキルアップを目的とした指導者育成講習会を開催する。(年3回6講座開催)

生涯スポーツ指導者育成講習会

(収支見込)

収入予定 197,000円

所要経費 456,000円

3. スポーツ行事開催事業

寄附行為第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

<主な主催事業>

- (1)第31回札幌マラソン大会(平成18年10月1日)

真駒内屋外競技場を発着点として、市内中心部折り返しコースのハーフマラソンと10kmを実施する。また、真駒内公園内で、一般5km(オープン)・中学生・小学生・ファンペア・車イス種目を実施する。

(収支見込)

収入予定	55,956,000円
所要経費	55,956,000円

- (2)第27回札幌国際スキーマラソン大会(平成19年2月11日)

札幌ドームを会場とし、旧西岡オリンピック記念距離競技場を含む周辺にて、スキーマラソン50km、スキーマラソン25km、歩くスキー10km、5km、3kmを実施する。

(収支見込)

収入予定	34,721,000円
所要経費	34,726,000円

<その他の主催事業>

- (1)第2回花・水・木ウォーク(平成18年6月25日)

健康志向の高揚を受け、年齢等を問わず、誰でも気軽に参加できるウォーキングを通じて、スポーツ実践の動機付けを図るため、白石から北広島市間のサイクリングロードにおいてウォーキング大会を実施する。

- (2)第13回北海道155ミニバレー大会(平成19年1月20・21日)

生涯スポーツとして、技を競いあうとともに心の交流を深め、健康で明るく豊かな暮らしに寄与することを目的に実施する。南区体育館自主事業

- (3)第6回道新杯小学生雪合戦大会(平成19年3月4日)

雪合戦を通して健全な小学生の育成・交流を図り、冬季における屋外スポーツの普及振興を目的に実施する。

- (4)SSPC100Kウォーク距離認定

年間を通したウォーキング系事業を啓発するため距離認定を実施。

認定大会「みずウォーク石狩川大会」「花・水・木ウォーク」「北海道を歩こう」「札幌国際スキーマラソン大会」「宮様スキー・パレード」

(収支見込)

収入予定	221,000円
所要経費	1,068,000円

<協力事業>

- (1)第47回札幌市民体育大会総合開会式(平成18年5月21日)

- (2)第78回宮様スキー大会国際競技会(平成19年3月上旬)

- (3)第14回サッポロペンタスロン屋内水泳記録会(平成18年11月26日)

- (4)2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会(平成19年2月20日～3月4日)

4. スポーツ情報提供事業

寄附行為第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) スポーツ情報誌の発行

スポーツライフ応援マガジン「スポーツライフ(sports life)」を年4回 各10,000部を発行する。

(2) 地域スポーツ情報の収集と提供

スポーツ・レクリエーションに関する総合的な情報、指導者サービス情報など、多様な分野の拡大に努め、幅広いスポーツ情報の調査・提供を行う。

地域スポーツ施設ガイドの作成、地域サークルガイドの作成、地域スポーツマップの作成

(収支見込)

収入予定 1,549,000円

所要経費 6,086,000円

5. 健康体力づくり相談事業

寄附行為第4条第5号に掲げる事業は、次の計画により行う。

<メディカルチェック付き健康トレーニング事業>

参加者(中高年者を対象)の身体測定、体力測定に加えて、健康運動指導士、栄養士等による指導、健康アドバイスを交えた健康トレーニング講習会を開催する。

(4施設・6教室・16コース)

(収入見込)

収入予定 3,587,000円

所要経費 2,541,000円

6. スポーツ行事及び体育施設等管理運営受託事業

寄附行為第4条第6号に掲げる事業は、次の計画により行う。

<スポーツ行事等受託事業>

(1) 少年少女水泳教室

7月下旬から8月上旬にかけて、市内20の小学校プールを会場として、泳げない小学生(3~6年生)を対象に水泳教室を開催(全8日間)。

(2) 第29回北海道を歩こう(平成18年9月3日)

真駒内緑小学校から支笏湖(ポロピナイ)までの33kmを完歩。健康に対する意識の高揚と体力の維持増進を目的に開催する。

(3) 歩くスキー普及事業

歩くスキーの普及・振興を図るため、白旗山競技場、中島公園、真駒内桜山にそれぞれ歩くスキー常設コースを設置し、中島公園内に歩くスキー無料貸出所を開設(平成18年12月下旬から平成19年3月下旬)。

<学校体育施設開放事業>

ア. 体育館開放～287校	}	小学校	195校(内自主管理校111校)
		中学校	91校
		高校	1校(内自主管理校1校)
イ. グラウンド開放～98校	}	小学校	44校(内自主管理校2校)
		中学校	54校(内自主管理校1校)
ウ. プール開放～204校		小学校	204校
エ. 格技室開放～13校		[中学校	13校]

グラウンド開放の東札幌小は早朝が自主管理校、夜間開放はセンター管理校です。

<体育施設管理運営受託事業>

ア. 北区体育館	セ. 手稲曙温水プール
イ. 東区体育館	ソ. 東温水プール
ウ. 白石区体育館	タ. 中央体育館
エ. 厚別区体育館	チ. 美香保体育館
オ. 豊平区体育館	ツ. 月寒体育館
カ. 南区体育館	テ. 円山総合運動場
キ. 西区体育館・温水プール	ト. コミュニティドーム
ク. 手稲区体育館	ナ. 星置スケート場
ケ. 清田区体育館・温水プール	ニ. 宮の沢屋内競技場
コ. 厚別温水プール	ヌ. 麻生球場
サ. 豊平公園温水プール	ネ. 白旗山競技場
シ. 平岸プール	ノ. 中島体育センター
ス. 白石温水プール	ハ. 藤野野外スポーツ交流施設

(収支見込)

収入予定 3,019,953,000円

所要経費 2,949,015,000円

7. 物品販売・貸付業及び飲食店業

寄附行為第4条第7号に掲げる事業は、次の計画により行う。

各施設において、利用者の利便を図るため、下記の事業を行う。

<物品販売事業>

(1) 売店営業施設

西区体育館・温水プール、厚別温水プール、白石温水プール、手稲曙温水プール
東温水プール、コミュニティドーム

(2) 自動販売機設置施設

北区体育館、東区体育館、白石区体育館、厚別区体育館、豊平区体育館、南区体育館
西区体育館・温水プール、手稲区体育館、清田区体育館・温水プール、厚別温水プール
豊平公園温水プール、平岸プール、白石温水プール、手稲曙温水プール、東温水プール
美香保体育館、コミュニティドーム、宮の沢屋内競技場、白旗山競技場、中島体育センター

<物品貸付事業>

(1)コインロッカー設置施設

西区体育館・温水プール、清田区体育館・温水プール、厚別温水プール、豊平公園温水プール、平岸プール、白石温水プール、手稲曙温水プール、東温水プール、コミュニティドーム、白旗山競技場、中島体育センター

(2)ドライヤー設置施設

西区体育館・温水プール、清田区体育館・温水プール、厚別温水プール、豊平公園温水プール、平岸プール、白石温水プール、手稲曙温水プール、東温水プール

(3)パークゴルフ用具貸出施設

コミュニティドーム

<飲食店業>

(1)レストラン営業施設

コミュニティドーム

(収支見込)

収入予定	121,446,000円
所要経費	94,880,000円